

# 肝生検を受ける方の入院診療計画書

\_\_\_\_\_様

入院日： \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

特記事項：

検査説明： 原因不明の肝障害の場合、肝生検による診断を行うにより適切な治療を受けて頂きます。  
慢性肝炎の場合、活動性や進行度を判定し療法の適応や治療効果を評価します。  
肝腫瘍の場合、良性・悪性さらに原発性・転移性の診断で、治療方針を決定します。

主治医： \_\_\_\_\_ 病棟責任者： \_\_\_\_\_  
担当看護師： \_\_\_\_\_ 病棟： \_\_\_\_ 棟 \_\_\_\_ 階

退院基準： ①生検部位に異常がない ②腹痛・発熱がコントロールできている  
③退院後の生活について理解できている

	外来 ( ____ / ____ )	入院当日・検査前日 ( ____ / ____ )	検査・治療当日 (術前) ( ____ / ____ )	検査・治療当日 (術後)	術後1日目・退院日 ( ____ / ____ )
検査・治療・処置	●胸部撮影 ●心電図検査	●血液検査 ●尿検査  上記の検査を行います。 ●リストバンドを付けます	●体温・脈拍・血圧を検査前に測ります。  ●午前中に、右手に点滴用の管を入れます。  ●検査室に入室する30分前に手術着に着替えます。	●検査直後は1時間後・3時間後・安静解除時に検温を行います。 ●創部の観察を行い、必要時交換します ●帰室後より安静解除まで心電図モニターをつけます。	●採血があります ●体温・脈拍・血圧を1日2回測ります ●創部の観察を行います。 カットパンへ変更します。 ●午前中に腹部超音波検査があります。 (朝食は食べて頂きます)
薬剤		● <b>普段内服しているお薬がありましたらお知らせ下さい。</b>  ●翌日に飲んで頂く薬を、お知らせします。	●検査に行く30分前から点滴と抗菌薬の点滴を始めます。  ●医師に指示された薬を飲んで頂きます。	●夜に抗菌薬の点滴をします  ●普段飲んでいるお薬があれば飲んで頂けます。	●点滴用の管を抜きます。
安静度・リハビリテーション		●普段通りの生活ができます。	●検査室まで歩いていきます。	●病室までストレッチャーに戻ります。  ●検査後5時間までは、ベッド上安静になります。 安静時間に変更があればお知らせします。  ●安静解除後はトイレまで歩行することができます。 安静時間に変更があれば、お知らせします。	●病院内歩行できます。
排泄		●制限はありません。		●検査後5時間まではベット上排泄です。	●制限はありません。
清潔		●入浴していただけます。	●時計、指輪等のアクセサリー、入れ歯など、外せるものははずしてください。  ●化粧、マニキュアはしないで下さい	●安静解除後、パジャマに着替えます。	●問題なければシャワー浴の許可が得ます。 (検査後3日目から入浴できます)
食事・栄養管理		●病状に応じた食事を食べて頂きます。 ●特別な栄養管理 ( <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 )	●昼食は食べられません。 水分は2時間前まで飲んで頂いてかまいません。 (朝食は食べれます)	●夕食は安静解除後に食べられます。  ●帰室1時間後より水分が飲めます。  ●水分・食事の開始許可が出たらお知らせします。	●特に制限はありません。
説明・指導・教育		●病棟の案内をします。 ●栄養士から食事について説明があります。  ●肝生検前後の経過について説明します。 (主治医・看護師)  ●薬剤師から薬の説明があります。	●手術着に着替える前に排尿を済ませ下さい。 (検査室に入室する30分前)  <b>※検査室に入室する時刻 ( ____ 時 ____ 分の予定)</b>  <b>※ご家族の方は、検査が始まりましたら、病室でお待ちください</b>	●痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使用することがあります。  ●吐き気があれば看護師に、お知らせ下さい。	●次回外来受診日 ●退院後の生活 ●入院費 のご説明をします  ●検査結果は約2週間後の次回外来で説明をします。

上記内容について説明を受けました。お名前 \_\_\_\_\_ (署名)